



「在宅医療・介護連携」多職種連携研修会

～ALS(筋萎縮性側索硬化症)の私が伝えたいこと～

難病の患者さんにとって、病状が進行して通院が困難になったときに、自宅で医療サービスを受けることができる在宅診療や在宅看護、さらに介護を含めた「難病在宅医療」は療養生活を支えるために欠かすことのできないサービスです。

一方、「難病在宅医療」を支援する医療・介護職種にとって、難病患者を支える制度は複雑であり、目の前にある問題を克服するための連携や連絡に迷うことがしばしばあると思われます。厚生労働省科学研究費 特定疾患政策研究事業「難病在宅医療支援マニュアル」から

今回、医療・介護に携わる私たちに向けて、ALS当事者の立場からお話をして頂き、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・訪問介護のあり方、レスパイト入院・災害時への対応など、患者さんを支える為の今後につなげて行きたいと考えています。



一般財団法人 ゆたかさの未来研究所(通称 P-ALS)

講師 代表理事 畠中一郎氏

開催日 令和6年 6月 24日(月)

時間 19:30～21:00

場所 藤沢市医師会館 2階ホール

申込 : FAX(裏面)にて事務局へ。

締切 : 6月 21 日(金)

共催 : 藤沢市医師会在宅医療支援センター ・ 藤沢市

事務担当: 藤沢市医師会在宅医療支援センター

電話:0466-41-9980

FAX:0466-41-9981

講師略歴



1958年鹿児島生まれ。
早稲田大学政治経済学部卒業後、JETRO(日本貿易振興機構)入社。その後、MBA(経営学修士)取得し、野村総研で経営コンサルタントとなる。2006年にハイブリッド・パートナーズを設立、今日に至る。2021年8月4日ALSの診断を受け、1年後の2022年8月4日財団(P-ALS)の設立。他の患者や家族を支える活動を展開している。

※駐車場は利用できませんので、公共交通機関をご利用ください。